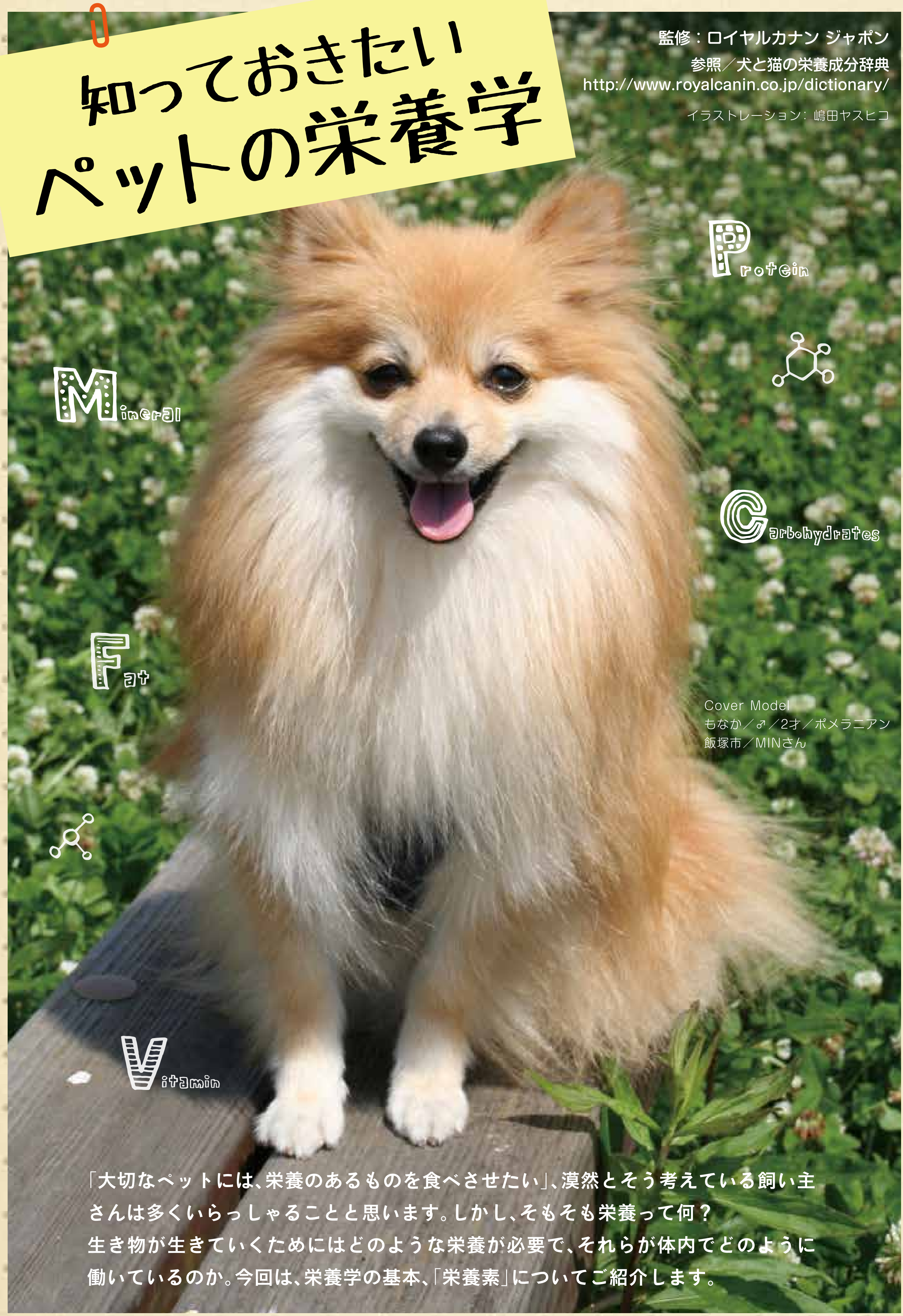
知っておきたい ペットの栄養学

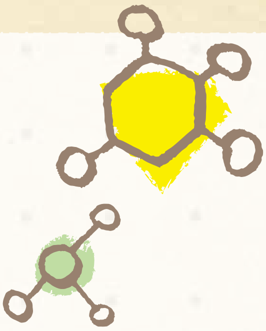
監修：ロイヤルカナン ジャポン
参照／犬と猫の栄養成分辞典
http://www.royalcanin.co.jp/dictionary/
イラストレーション：嶋田ヤスヒコ



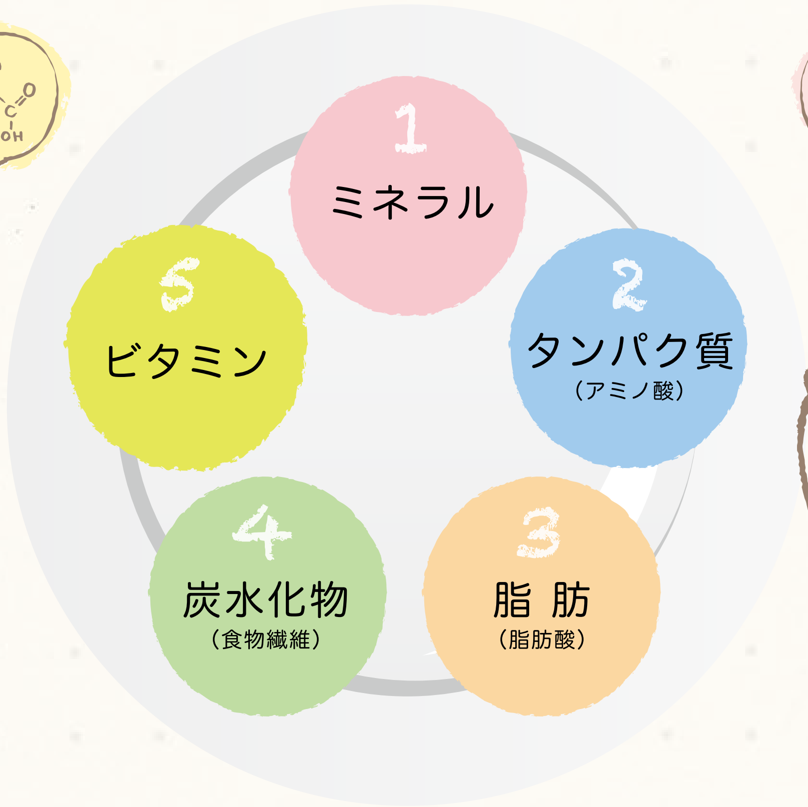
Cover Model
もなか／♂／2才／ポメラニアン
飯塚市／MINさん

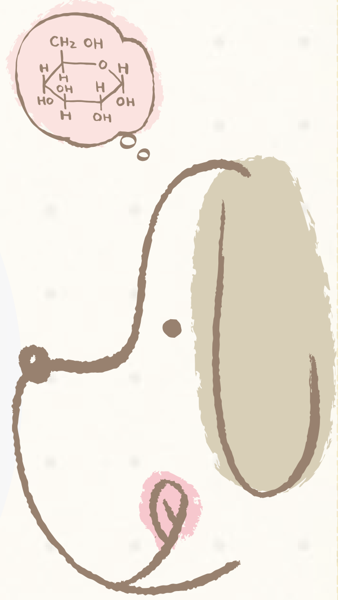
「大切なペットには、栄養のあるものを食べさせたい」、漠然とそう考えている飼い主さんは多くいらっしゃることと思います。しかし、そもそも栄養って何？
生き物が生きていくためにはどのような栄養が必要で、それらが体内でどのように働いているのか。今回は、栄養学の基本、「栄養素」についてご紹介します。

基本となる5大栄養素！



生き物が生きていくために体の中に取り込む必要がある栄養素は、
大きく5つに分けられます。





丈夫な骨や歯に欠かせないカルシウム、体のさまざまな働きを調整するビタミン、筋肉など体を作る以外にもエネルギーや酵素としても利用されるタンパク質など、栄養素は体内でそれぞれ異なる役割を持っています。栄養素は、どれか1種類でも過不足になると健康に悪影響を与える恐れがあるため、「バランス良く」取り入れることが大切です。

「ペットフード」は、犬や猫がどんな栄養素をどれだけ必要としているかを調べ、そのために必要な1つ1つの栄養素を組み合わせて作られている完全食です。

犬と猫が必要とする栄養素は、犬種や猫種・体重・年齢などさまざまな要因により異なるため、自分のペットが今どんな栄養素を必要としているかを知り、それらがバランスよく含まれているフードを飼い主さんが選ぶ必要があります。

1 ミネラル

ミネラルの栄養素としての役割

骨や歯など体の健全な発育と維持を担う。
血液や体液のpH(酸性・アルカリ性の度合い)を正常に保つ。

ミネラルとは

ミネラルとは動物の体を構成する元素のうち、酸素・窒素・炭素・水素を除いたものすべてをいい、動物の体内には自然界にあるミネラルのすべてが存在すると言われています。

ミネラルはバランスが重要

血液の酸・アルカリバランスを一定に保つカリウムやナトリウム、タンパク質の消化に利用される塩素、エネルギー代謝全般にかかわるマグネシウムなど、数種のミネラルがそれぞれに異なる働きをしながら体を支えています。
ミネラルを効率よく体内に吸収するには、摂取バランスに注意が必要。例えばカルシウムとリンは骨格の強化を担う主要必須ミネラルですが、リンの過剰はカルシウムの吸収を阻害したりします。

point

ミネラルは、それぞれの働きにより「主要必須ミネラル(カルシウム、リン、カリウム、ナトリウム、塩素、マグネシウム)」と「微量必須ミネラル(鉄、銅、マンガン、亜鉛、ヨウ素、セレン)」に分けられます。

2 タンパク質(アミノ酸)

タンパク質の栄養素としての役割

肉食・雑食の犬猫にとって重要なエネルギー源。
成長期の筋肉を育て、高齢期の筋肉減少を予防する。

栄養素としての役割

タンパク質は、アミノ酸と呼ばれる成分が鎖状に繋がってできたものです。胃や小腸から分泌される消化酵素の働きで鎖状の繋がりが切られて再びバラバラのアミノ酸に分解され、小腸から体内に吸収されます。肉食動物の猫や、肉食に近い雑食性動物の犬にとって、タンパク質(アミノ酸)はエネルギー源としてもとても重要なものなのです。

食事から摂取する必要があるアミノ酸

タンパク質を作る約20種類のアミノ酸のうち、必ず食事から摂取しなければいけないアミノ酸があり、それらは「必須アミノ酸」と呼ばれています。例えば、アンモニアを尿素に変換して排泄するために重要な「アルギニン」は犬と猫の必須アミノ酸で、「タウリン」は猫の場合体内での合成能力が低い一方、必要量が多いため食事からの摂取が必要とされています。

point

タンパク質は加工をすると消化性が格段に向上するため、肉類、大豆、小麦などの原材料からタンパク質を取り出す加工をしたペットフードの消化率は、90%以上にまで向上します。そのため、品質の高いタンパク源であればとくに肉類にこだわる必要はありません。